

千足古墳 - 発掘からわかったこと -

西田和浩

1. はじめに

造山古墳群は主墳である造山古墳とそれに付随する 6 基の古墳の合計 7 基で構成される。岡山市北区新庄下に所在する。古墳群の形成は 5 世紀初頭～中頃と推測される。造山古墳は全長が約 350 m あり、全国第 4 位の規模である。その他 6 基の古墳はこの造山古墳の被葬者に従属する関係者の墓と考えられている。千足古墳はこのうちの一つである。従来、吉備最古級の横穴式石室内をもち、その内部に直弧文装飾を持つ全長約 74m の帆立貝形古墳として知られていた。

2. 発掘調査の成果

2009 年に石室内に安置されている直弧文装飾の劣化が確認されたことから、劣化の原因を探るための発掘を 2010 年度に行い（第 1 次調査）、2011 年度は石製装飾の取り上げ工事に先立ち、石室上面の全面発掘を実施した（第 2 次調査）。2012・2013 年度は古墳の範囲確認および、今後の史跡整備に必要なデータを取得するための発掘調査を行った（第 3・第 4 次調査）。

調査の結果、第 1 次調査では、石室上部に掘られた約 100 年前の乱掘跡を確認し、その乱掘跡の埋土から第 1 石室の副葬品と考えられる鉄器等が出土した。第 2 次調査ではこれまで不明であった第 1 石室入口（羨道部）の様子が確認された。第 3・第 4 次調査では古墳の正確な範囲を確認し、それとともに鞍形埴輪など多量の埴輪が出土した。従来全長約 74m といわれていた墳長が調査の結果約 81 m 程になることが分かった。

さらに、第 4 次調査では第 1 石室の隣から新たな石室（第 2 石室）を発見した。初期横穴式石室が 2 基並んで構築される例は珍しく、全国的にみても貴重な調査事例と考えられる。

3. 出土した埴輪の種類と特徴

千足古墳から出土した形象埴輪には、鞍・盾・蓋・家・甲冑などがみられる。多くの種類がみられる点に特徴があり、造山古墳など大型前方後円墳と同じ構成を持つ。造山 2 号墳・4 号墳より豊富な内容といえる。特に、鞍形埴輪は造山古墳採集品と類似しており、造山古墳群の中でもより造山古墳と共通した埴輪構成を持つ点は注目される。

4. おわりに

これまでの調査によって千足古墳の規模や埋葬施設、副葬品や埴輪の構成などが明らかになった。今後は出土した副葬品や埴輪を詳しく分析し、千足古墳が築造された時期や、造山古墳群内で確認されている埴輪との比較などを行うことになる。今回の千足古墳の発掘調査を手掛かりとして、まだ古墳の形や規模が判明していない他の陪塚や主墳である造山古墳の発掘調査を進めていくことが期待される。

参考文献

岡山市教育委員会 2013 『千足古墳－発掘調査概要報告書－』

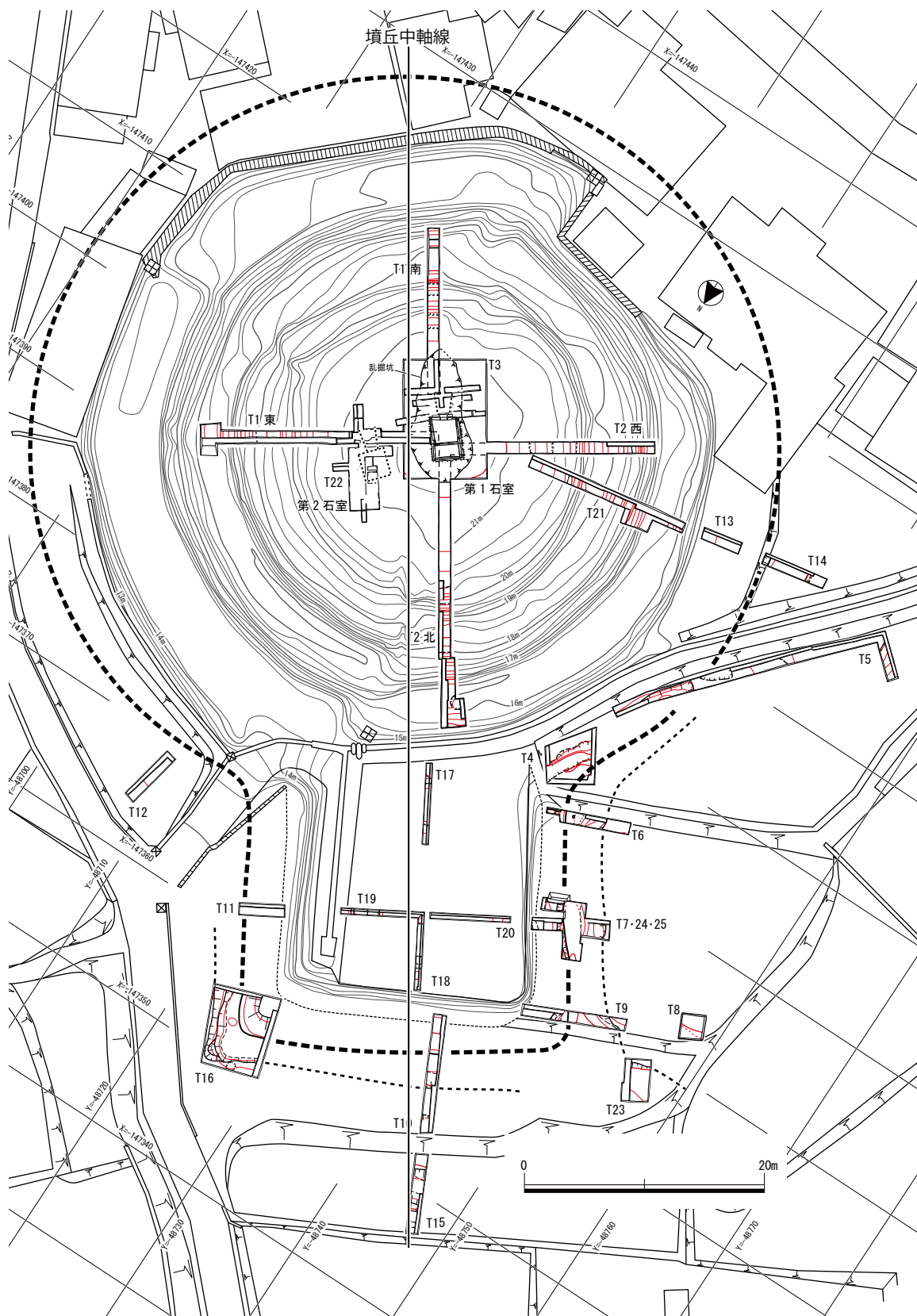
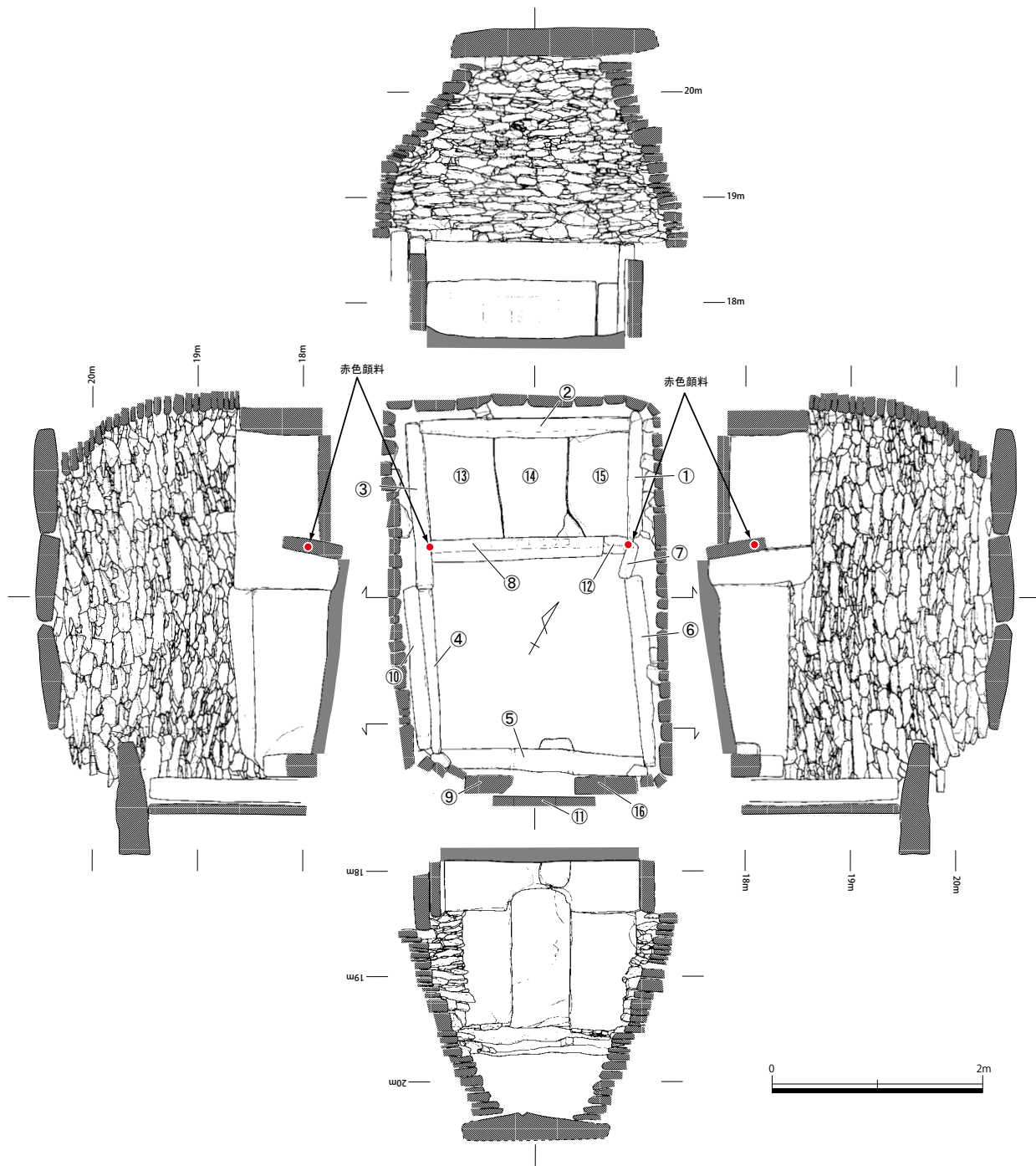


图1 千足古墳全体図



石材の種類

安山岩（香川産）：②⑩⑪他に、天井石（4枚）と壁の石（ほぼ全て）

天草砂岩（熊本産）：①③④⑤⑥⑦⑧⑨⑫⑬⑭⑮⑯

図2 第1石室

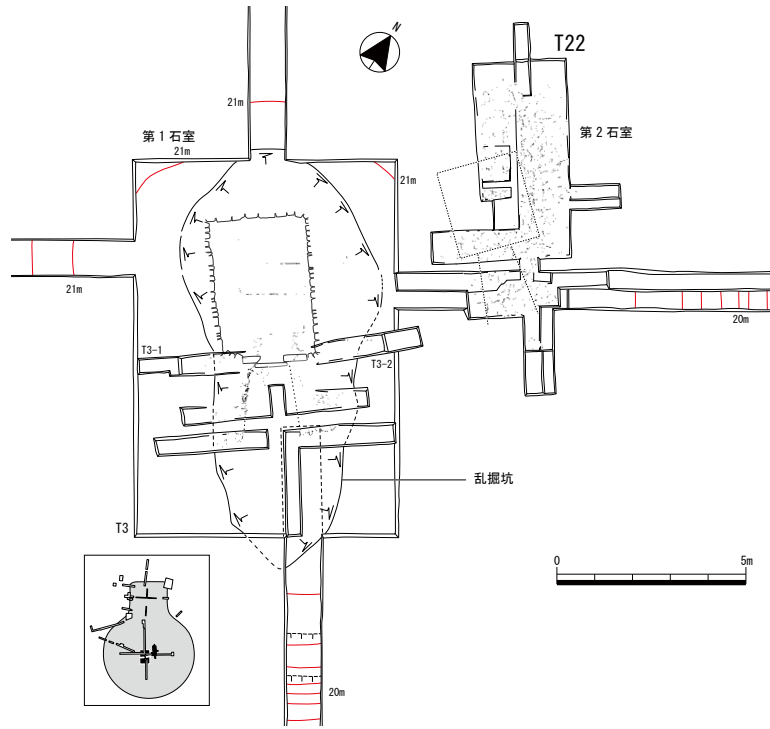


图3 第1石室·第2石室平面图

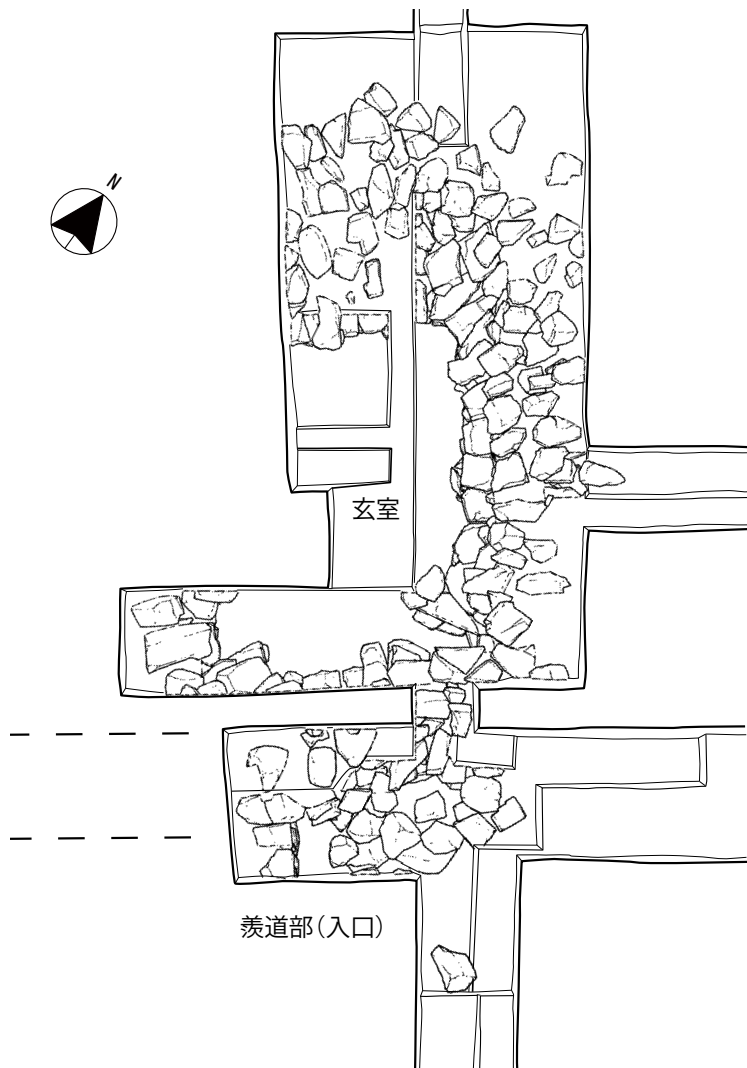
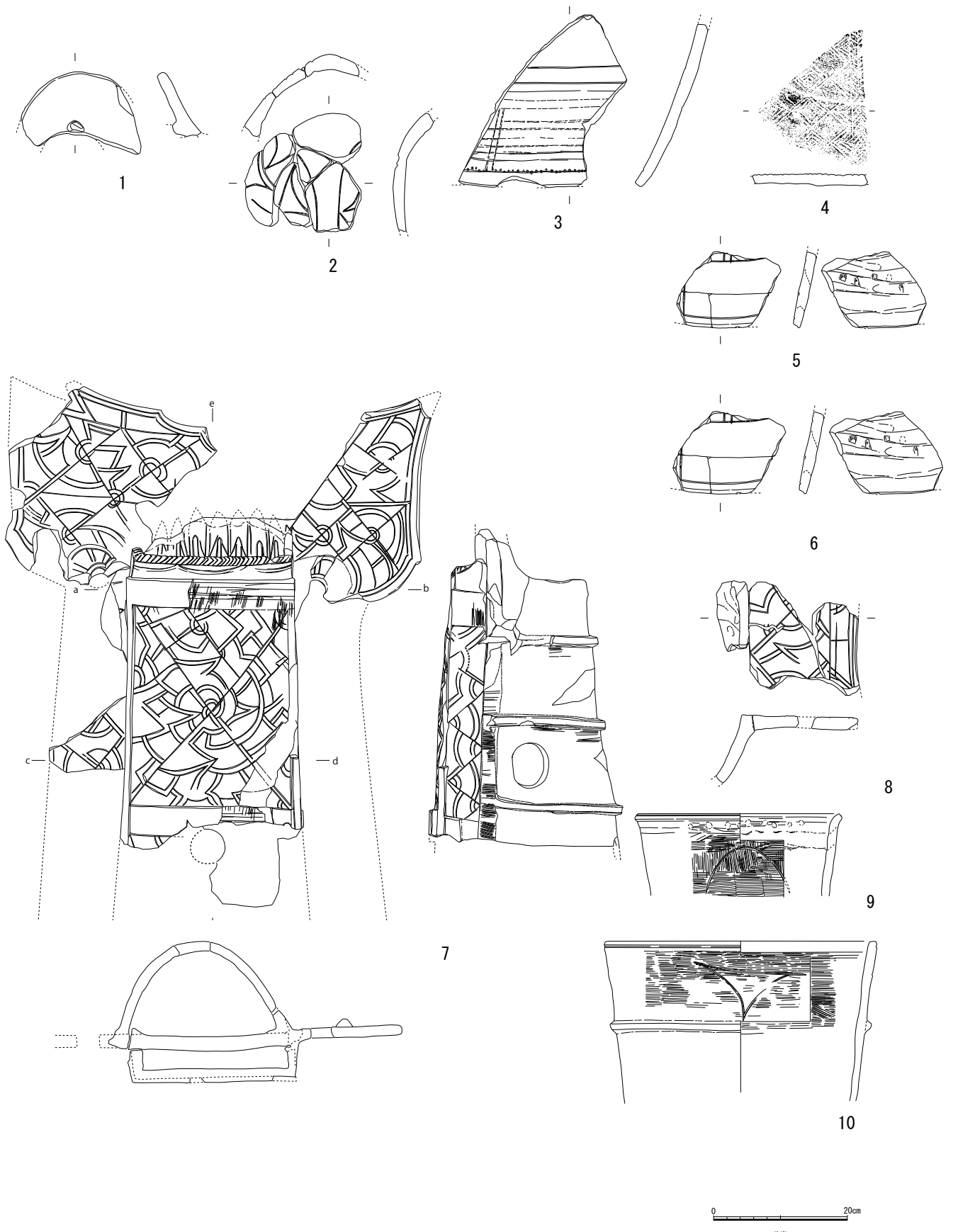


图4 第2石室



1: 家 (屋根) 2: 甲冑 (甲) 3: 甲冑 (草摺) 4: 盾 5・6: 蓋 (笠)
7・8: 鞍 9・10: 円筒

図5 千足古墳出土の埴輪 (1/8)

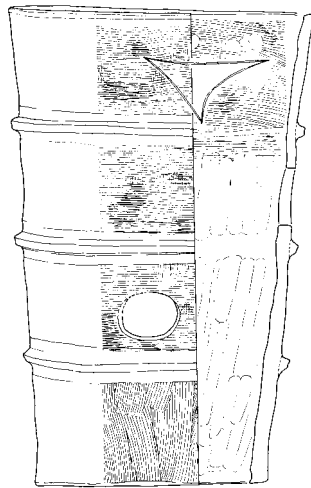
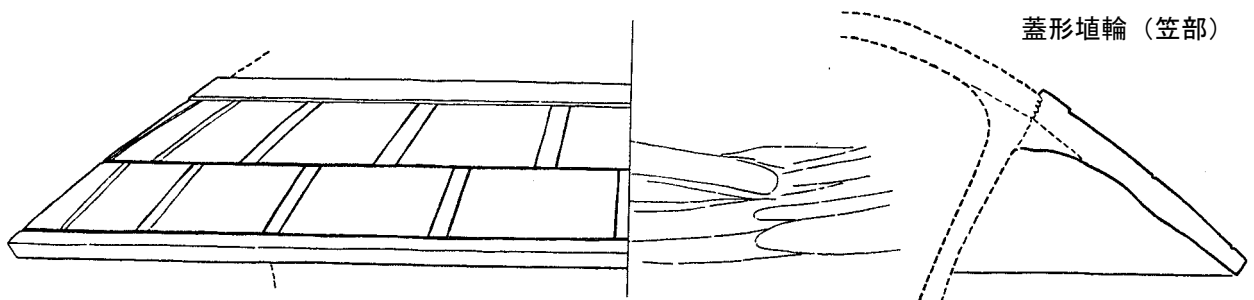
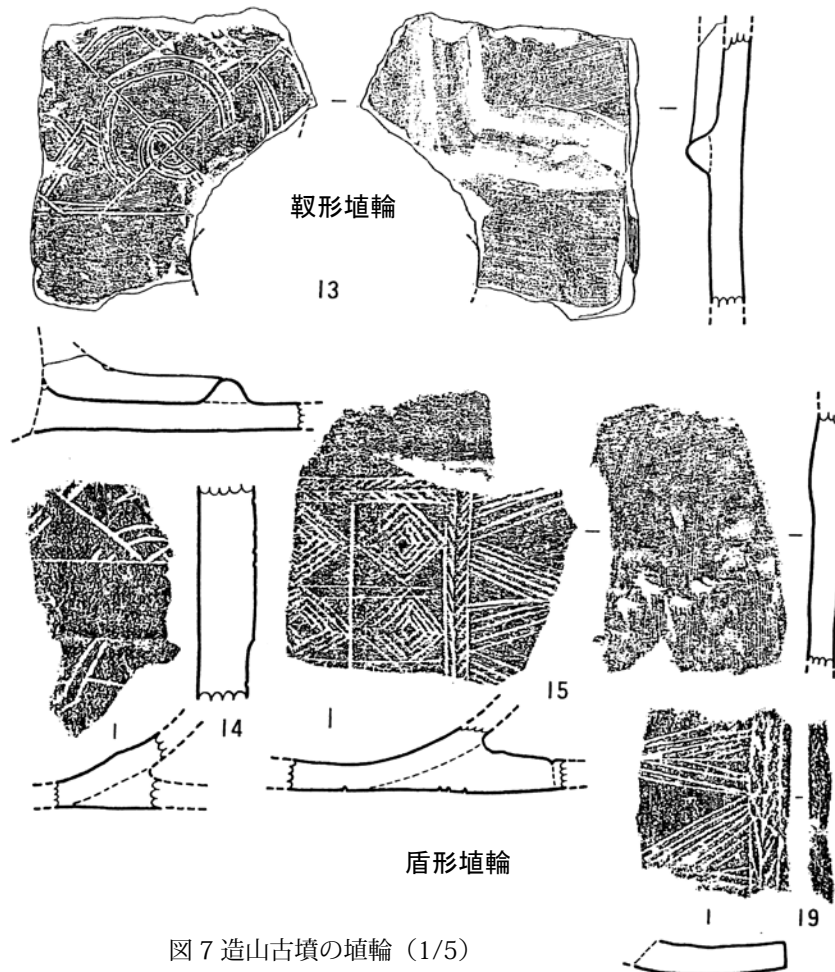


図6 造山2号墳の埴輪 (1/8)



笠形埴輪 (笠部)



鞍形埴輪

13

盾形埴輪

15

19

図7 造山古墳の埴輪 (1/5)

春成秀爾 1983「造山・作山古墳とその周辺」『岡山県の歴史と文化』福武書店より引用

表1 吉備南部の中期古墳の埴輪構成

古墳名	時期	墳丘規模	墳形	葺石	段築	円筒	蓋	盾	靴	甲冑	家	鶏	動物	人	備考
岩田3号	5期	20	方	○	2	○	○			○	○				
造山	6期	350	前方後円	○	3	○	○	○	○		○				
造山4号	6期	54	帆立貝	×	?	○	○			○	○				
西の平	6期	20>	方	×		○				○					
法伝山	6期	40	方	×	?	○		○							
法蓮37号	6期	8	方	×							○				
西山25号	6期	12	方	×		○									
西山1号	6期	15	方	×							○?				
西山26号	6期	30	造出し方	×		○	○	○	○	○	○	○			埴輪棺
前池内10号	6期	15	方	×		○		○			○				埴輪棺?
宿寺山	7期	116	前方後円	○	2	○	○	○	○	○	○				
用木11号	7期か	11	方	×		○					○?				
四辻1号	7期	18	円	×		○					○?				
宮山4号	7期	17	方	○		○					○				
法蓮22号	7期	10	円	×		○									
高本3~5号	7期	約10	円	×		○					○				
四辻5号	7~8期	15	円	×		○					○				
中山6号	8期	13	方	×		○					○		○	○	
法蓮40号	8期	10	円	×		○									
雲山1号	8期	>6	方	×		○									
雲山2号	8期	7	方	×		○									
寺山7号	8期	10	方	×		○									

宇垣匡雅 2002「宿寺山古墳の研究(1)」『環瀬戸内海の考古学(下巻)』古代吉備研究会より引用

古墳名	時期	墳丘規模	墳形	葺石	段築	埴輪の種類								
						円筒	蓋	盾	靴	甲冑	家	鶏	動物	人
千足古墳	6期	約81m	帆立貝形	なし	3?	○	○	○	○	○	○	なし	なし	なし